



2016年2月2日

各 位

会 社 名 MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 柄 澤 康 喜
(コード番号：8725 東証・名証各第一部)
問合せ先 広報・IR部課長 内 藤 雅 人
(TEL：03-3259-1347)

英国 Amlin 社の買収手続き完了に関するお知らせ

当社の子会社である三井住友海上火災保険株式会社（社長：柄澤 康喜、以下「三井住友海上」）は、2015年9月8日付で発表したAmlin plc（以下「Amlin 社」）の買収手続き開始の合意に関連し、各国当局からの認可取得を経て、今般、英国裁判所による最終承認を取得いたしました。これにより、2016年2月1日付（現地時間）でスキーム・オブ・アレンジメント（英国法に基づく買収手続き）の効力が発生し、Amlin 社は三井住友海上の完全子会社となりましたので、お知らせいたします。

買収手続き完了に伴い、Amlin 社はMS Amlin plc（以下「MS Amlin 社」）に商号を変更するとともに、ロンドン証券取引所における上場を廃止し、非上場会社となります。なお、買収総額は約 34 億ポンドとなりました。

1. 新会社の概要

- (1) 商 号：MS Amlin plc
- (2) 代 表 者：Charles Philipps
- (3) 役員体制：取締役 12 名（4 名は三井住友海上から派遣、4 名は独立社外取締役）
- (4) ロゴマーク：



2. 経営体制について

三井住友海上は MS Amlin 社を直接出資の完全子会社とし、同社および同社傘下子会社の経営管理を行っていきます。

MS Amlin 社は同社傘下子会社を統括し、三井住友海上とともにMS & ADインシュアランス グループの海外事業におけるシナジーを追求していきます。

また、ロイズ事業と再保険事業については、「統合監視委員会」と事業別の「運営委員会」を立ち上げ、事業統合に向けた検討を行っています。

3. 連結決算における取扱い

MS Amlin 社の 2016 年 1 月－12 月の損益は、2017 年 3 月期第 1 四半期から当社および三井住友海上の連結財務諸表に反映します。

以 上

<重要情報>

海外居住者について

本適時開示に含まれる情報は、直接又は間接を問わず、その地において当該情報を公表若しくは流布させることが当該法域における法律違反となり、又はその公表若しくは流布により、MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社（以下「当社」といいます。）及びその子会社である三井住友海上火災保険株式会社（以下「三井住友海上」といいます。当社とあわせて以下「MS&AD」といいます。）によって過度の負担であるとみなされる公的若しくは他の同意、登録若しくは届出その他の手続の遵守義務を発生させることになるであろういかなる国（以下「制限法域」といいます。）において発表又は流布されるものではありません。また、株主のうち、英国若しくは日本以外の法域の居住者、国民若しくはそれらの国の国籍保有者又はそうした者の代理人、被任命者、管理人若しくは受託者に対して当該情報（及び関連するオファー）を供給することができるかどうかについては、関連する法域の法の影響を受ける可能性があります。英国若しくは日本以外の法域の法に従う者又は英国若しくは日本以外の国に居住するAmlin plc（以下「Amlin社」といいます。）の株主は、適用される法律又は規制上の要件を把握し遵守すべきです。適用される制約の不遵守は、当該法域における証券取引法違反を構成する可能性があります。三井住友海上によるAmlin社の発行済又は発行予定の株式の全てに対して今般行われた買収オファー（以下「本件買収」といいます。）は、直接又は間接を問わず、制限法域内の者に対して若しくは制限法域内で又は制限法域から行うものではなく、また、制限法域から若しくは制限法域内で本件買収に応じることはできません。

将来の見通しに関する記載

本適時開示には、将来の見通しに関する記載が含まれています。「目標とされている」、「考えられている」、「期待されている」、「予期されている」、「意図されている」、「予定されている」、「評価されている」、「目指されている」、「するだろう」、「可能性がある」、「予見されている」、「計画されている」及びこれらに類する表現を用いた記載（その反対の意味の記載を含みます。また、これらの記載に限られません。）は全て、将来の見通しに関する記載です。将来の見通しに関する記載には、以下のものが含まれます。

- ・ 本件買収によりMS&ADにもたらされる期待利益に関する記載。
- ・ 本件買収の背景及び理由。
- ・ MS&AD又はAmlin社の今後の見通しに関する情報及び将来の資本支出、経費、収益、利益、シナジー、経済性及び将来性。

将来の見通しに関する記載は、その性質からして、リスクや不確実性を含んでおり、それらのリスクや不確実性は、予期される結果に重大な影響を及ぼす可能性があります。また、そのようなリスクや不確実性は、一定の重要な前提に依拠しています。これら多くの要因は、実際の結果と、将来の見通しに関する記載において推定され又は示唆された内容（Amlin社の三井住友海上との統合の成功に関するリスク（Amlin社との統合に関して想定されていた費用の増加。期待された利益を得るための投資の必要。三井住友海上に明らかになっていなかった、本件買収によって実現される利益のタイミング及び額に影響を与えるAmlin社に関連する事実等。）を含みます。）との間に、重大な乖離をもたらす可能性があります。MS&ADは、将来の見通しに関する記載についてのAmlin社の期待の変化若しくは適時開示の日以降に発生した、将来の見通しに関する記載が前提としている出来事、条件若しくは状況の変更を反映した将来の見通しに関する記載の更新若しくは変更を公表すること又は本適時開示に含まれるその他の情報を最新のものに保つことについて、義務を負い又は保証を行うことを明示的に否認します。そのため、本適時開示の日において記載されたものに過ぎない将来の見通しに関する記載を過度に信用すべきではありません。